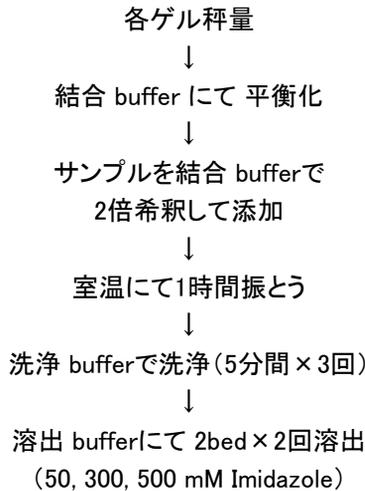


各種固定化金属レジンの結合容量の比較

1. 精製手順



結合・洗浄 buffer :

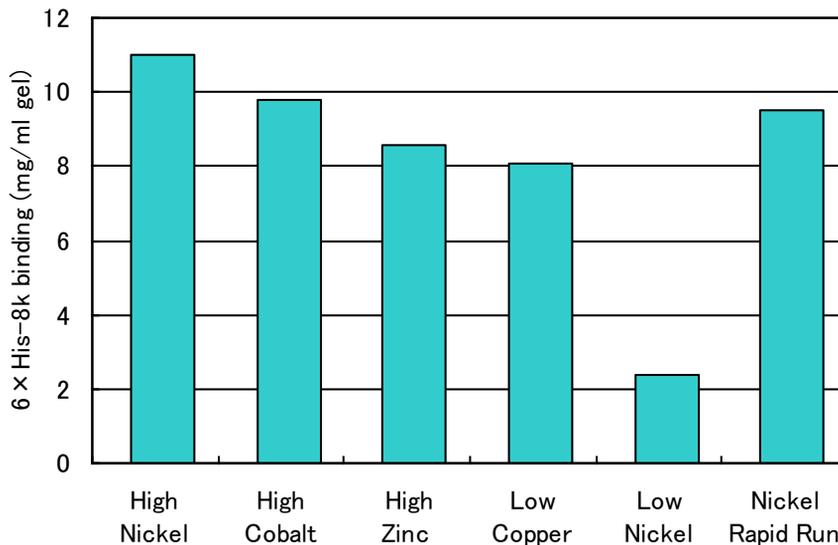
10 mM Imidazole, 50 mM Na-Pi, 0.5 M NaCl, pH7.4

溶出 buffer :

50-500 mM Imidazole, 50 mM Na-Pi, 0.5 M NaCl, pH7.4

サンプル : Hisタグタンパク質 (6 × His-8k) 発現
大腸菌抽出液 (0.5 mg/mL)

2. 結果



各種金属イオンが固定化されたレジンの His タグタンパク質 (6 × His-8k) を発現させた大腸菌抽出液 (0.25 mg His タグタンパク質/mL) を加えて1時間振とう後、濃度の異なるイミダゾール溶液で洗浄・溶出した。溶出液の His タグタンパク質濃度を測定した結果、Low Density レジンよりも High Density レジンで収量が高く、ニッケルレジンが最も高い結合能を示した。高流速タイプのニッケル Rapid Run ならびにコバルトレジンもほぼ同等の結合能を示した。また、銅レジンは Low Density タイプではあるが、比較的高い結合能を示した。各レジンの精製純度に関してはアプリケーションデータ No.A004 を参考されたい。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>